



42.6^{km}の進化を
今、そして未来へ



令和7年6月16日
国土交通省中部地方整備局
北勢国道事務所

— 記者発表資料 —



ほくせい
国道1号 北勢バイパス
ひながやさと
(市)日永八郷線～国道477号バイパス
開通2か月後の交通状況をお知らせします。

1. 開通区間の概要

【別紙1】

開通区間：国道1号 北勢バイパス（延長4.1km）
（市）日永八郷線（三重県四日市市山之一色町）～
国道477号バイパス（三重県四日市市曾井町）
（暫定2車線（上り・下り各1車線））
開通日時：令和7年3月16日（日）15時

2. 開通後の交通状況

開通後の所要時間

【別紙2】

- ・三重北小学校南交差点から曾井町東交差点（国道477号BP）
の所要時間が約10分短縮、旅行速度は約17km/h向上

開通後の利用交通量

【別紙3】

- ・開通後の交通量は、約10,000～10,700台/12時間
- ・既開通区間の交通量は、開通前と比較して約7割増加

3. 配布先

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、
四日市市政記者クラブ、桑名市政記者クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所
副所長 田中 勝 計画課長 小里 大輔 電話 059-363-5511

つながる中部42.6

令和7年夏頃までに開通する各道路事業の整備効果や開通に向けての進捗状況など積極的にPR



2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステムの実現を目指す

World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETWORK



事業概要

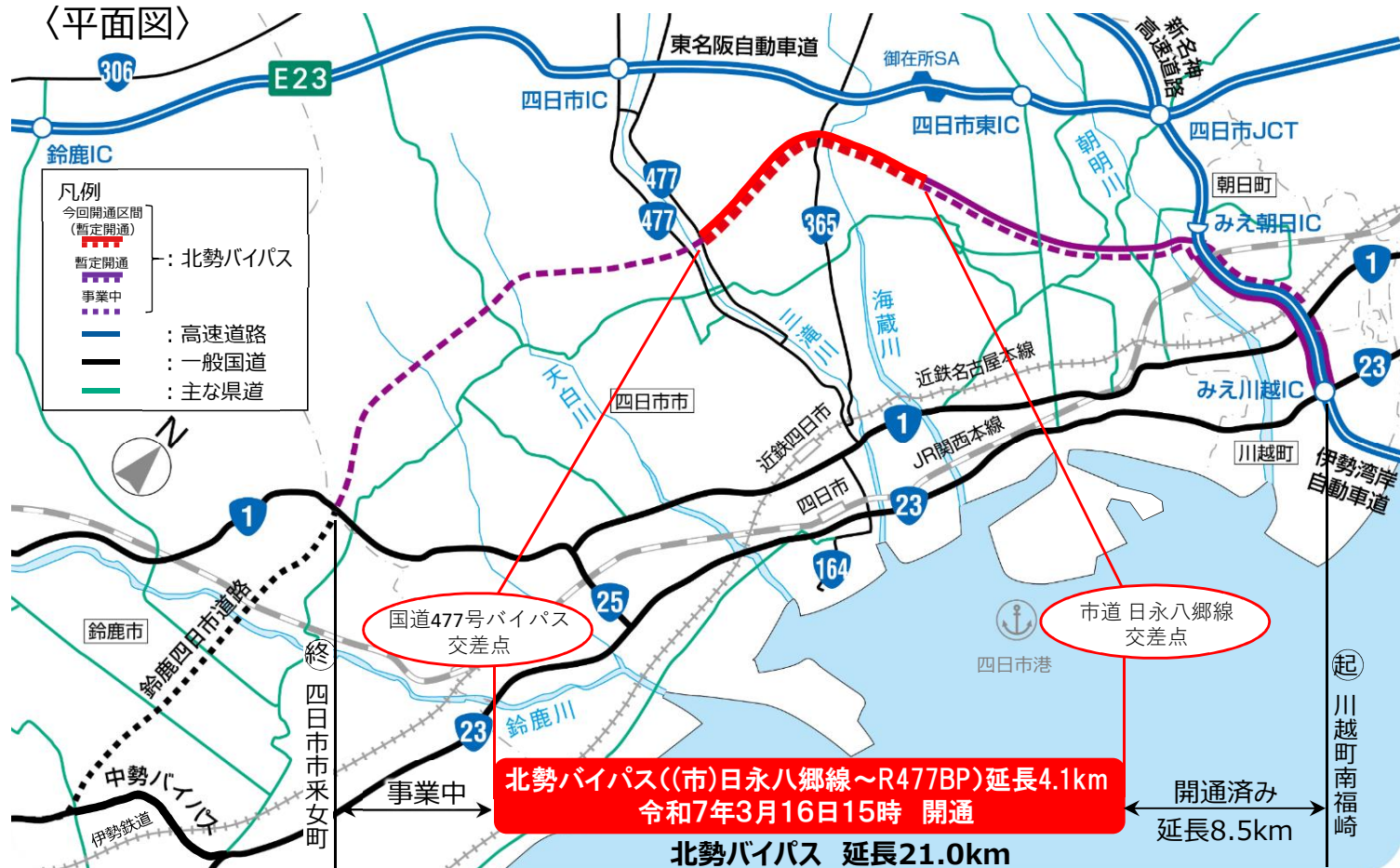
国道1号北勢バイパスは、三重郡川越町南福崎（国道23号）～四日市市采女町（国道1号）に至る延長21.0kmの幹線道路です。

北勢バイパスの整備により、四日市市内の国道1号、国道23号等の渋滞緩和、災害に強い道路機能の確保及び地域活性化の支援等の効果が発現が期待されます。

現在、みえ川越IC～市道日永八郷線までの延長8.5kmが開通済みです。

今回の開通により、北勢バイパス21.0kmのうち12.6km（約60%）が開通となりました。

〈平面図〉



令和7年3月16日(日)
開通セレモニー・パレードの様子

北勢バイパスの開通後、所要時間が短縮

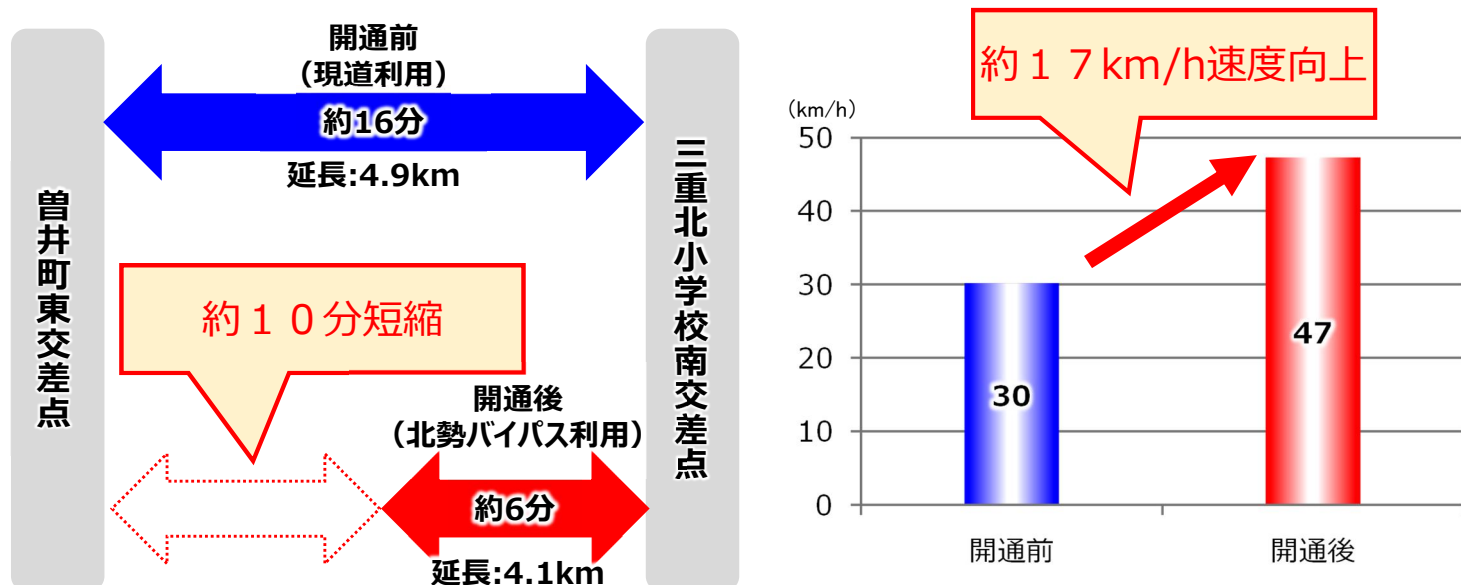
○北勢バイパスの開通により、三重北小学校南交差点から曾井町東交差点(国道477号BP)の所要時間が**約10分短縮**し、旅行速度は**約17km/h向上**。

■北勢バイパス位置図



開通後の利用状況

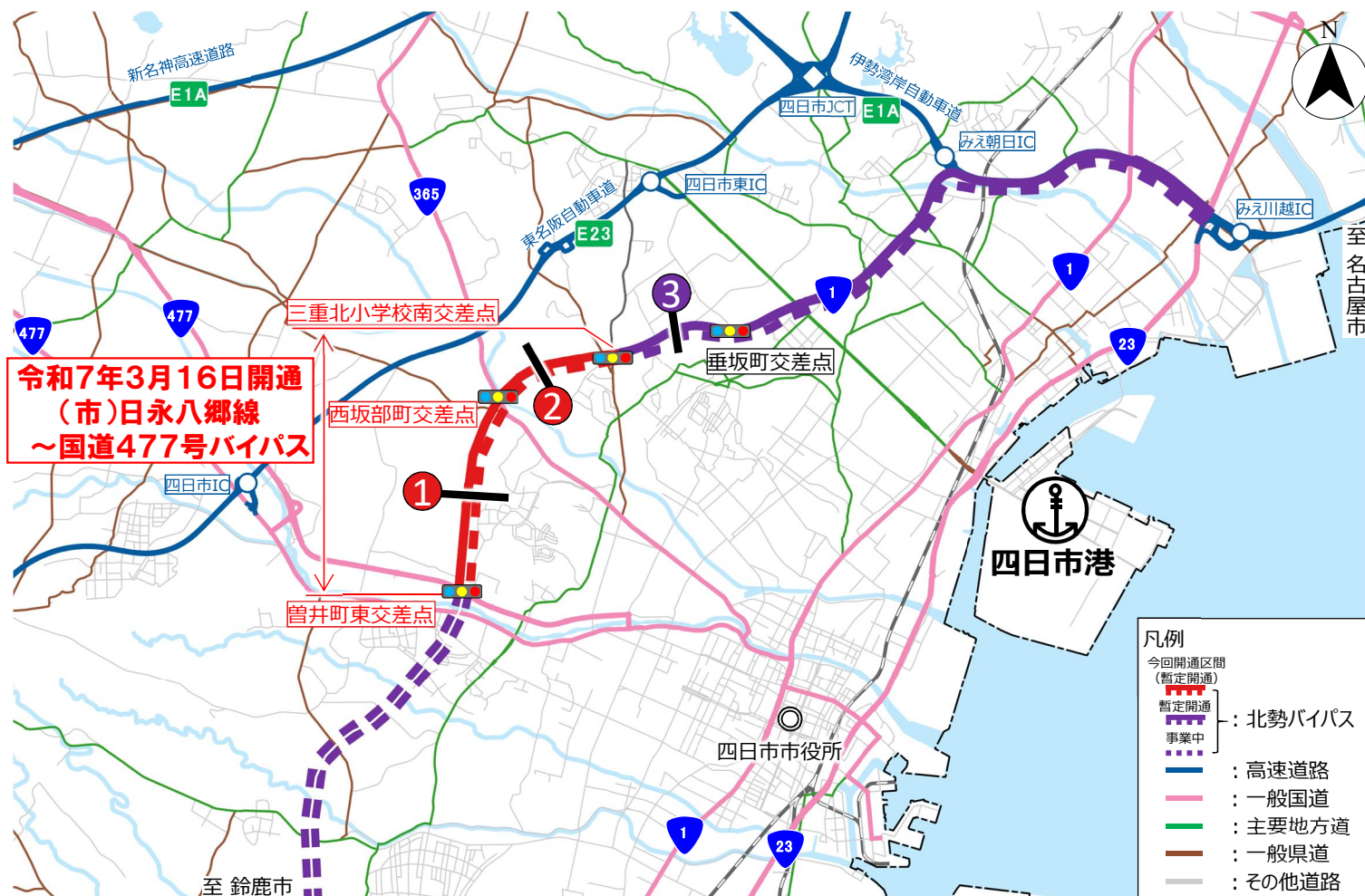
■開通前後の所要時間・旅行速度状況(昼間12時間)



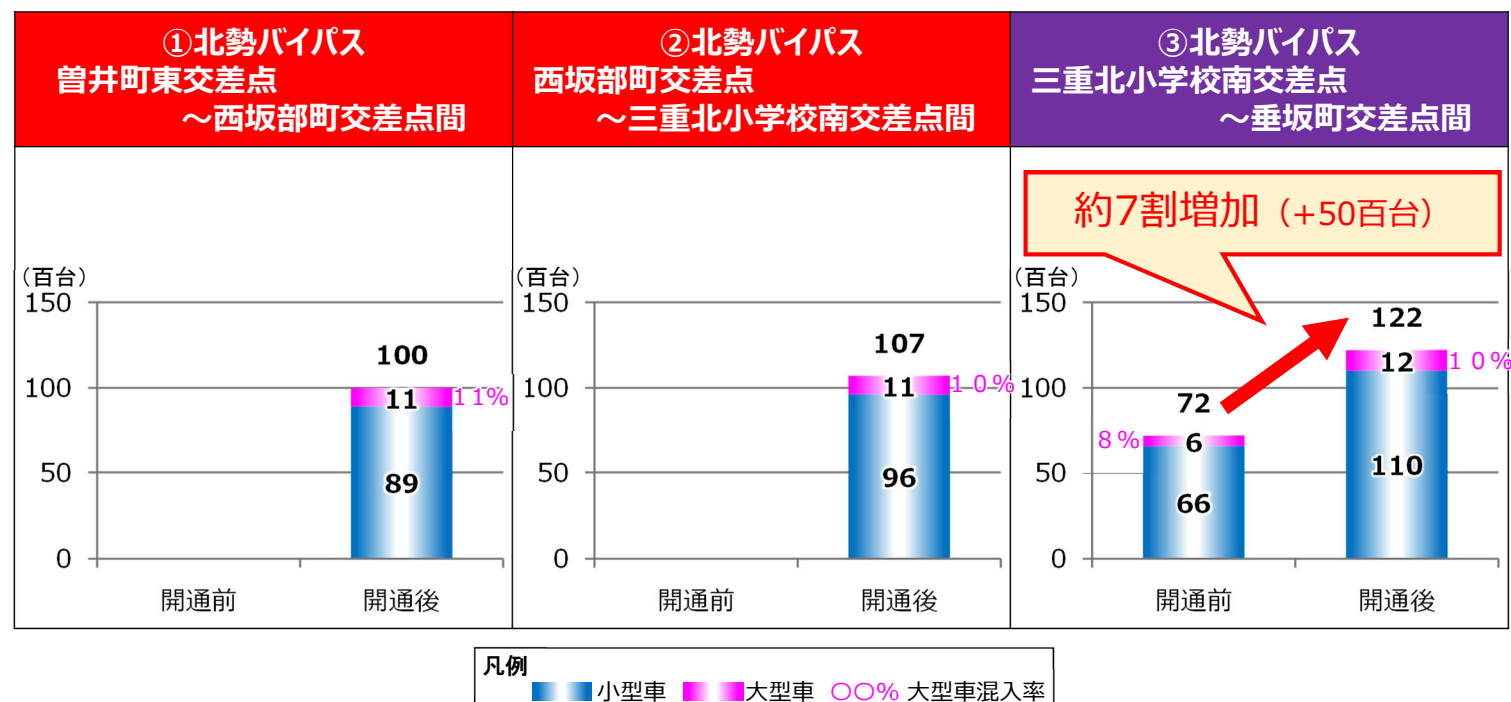
北勢バイパスの開通後、利用交通が増加

- 北勢バイパス開通区間の交通量は、昼間12時間当たり**約10,000～10,700台**が利用。
- 北勢バイパス既開通区間の三重北小学校南交差点～垂坂町交差点間の交通量は今回の開通により、交通量が**約5,000台(約7割)増加**。

■北勢バイパス位置図



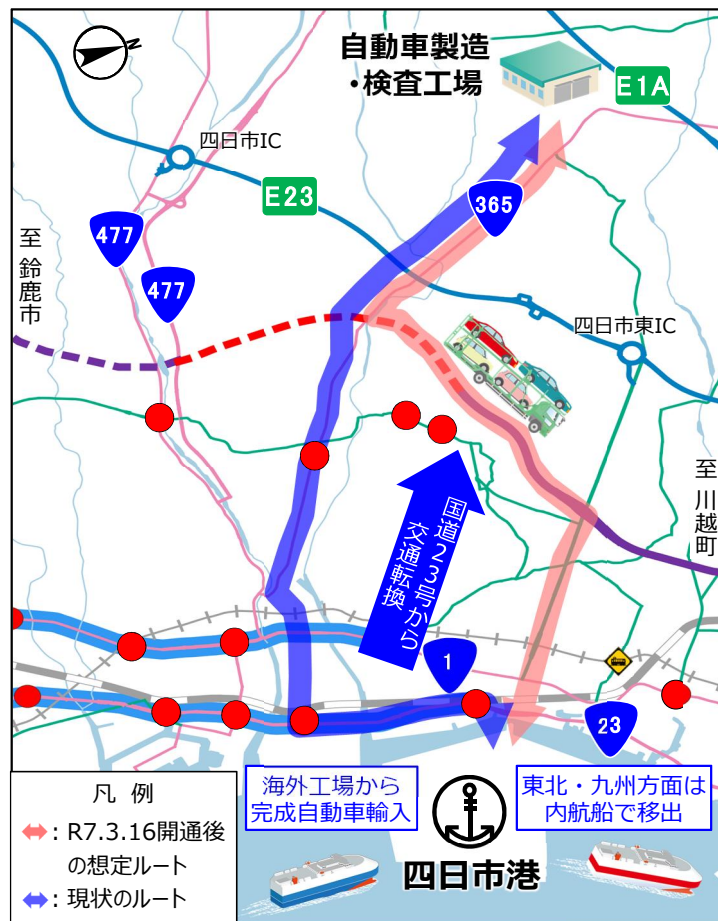
■断面交通量(百台/12時間(7:00～19:00))



新たな南北道路軸への交通転換により渋滞緩和！

- 今回の開通に伴い四日市港と自動車製造・検査工場間の輸送経路の選択肢が増える等、安定的な物流機能の維持に期待。
- 今後の北勢バイパスの整備により、新たな南北道路軸が形成され、現道からの交通転換が図られ、渋滞緩和に期待。

■ R7.3.16開通区間の交通転換の一例



■ 自動車製造・検査企業の声

- ・海外工場で製造された完成自動車を国内販売用に納品前整備事業を行っており、海外からは名古屋港に約3割、四日市港に約7割の比率で輸入されており、2023年は約1万2千台が四日市港に輸入されました。
- ・現在、工場と四日市港間の一般道の経路選択肢が限られており、完成車の輸送中に渋滞に巻き込まれてしまうと、迂回に時間がかかったり身動きが取れなくなる恐れがあります。

- ・輸送経路の選択肢が増えることで安定的な物流機能の維持が期待できます。

※自動車製造・検査企業ヒアリング結果より



■ 北勢バイパス全線開通時の交通転換

